【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第５部門第１区分
【発行日】平成23年6月16日(2011.6.16)

【公表番号】特表2007-520660(P2007-520660A)
【公表日】平成19年7月26日(2007.7.26)
【年通号数】公開・登録公報2007-028
【出願番号】特願2006-551690(P2006-551690)
【国際特許分類】
Ｆ０４Ｂ　39/00　　　(2006.01)
Ｆ２５Ｂ　 1/00　　　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｆ０４Ｂ　39/00　　　１０１Ｆ
Ｆ２５Ｂ　 1/00　　　３１１Ｚ

【誤訳訂正書】
【提出日】平成23年4月19日(2011.4.19)
【誤訳訂正１】
【訂正対象書類名】明細書
【訂正対象項目名】０００７
【訂正方法】変更
【訂正の内容】
【０００７】
図３から図４は、上述の問題を回避する吸引システムの他の従来技術の構造を示す。この構造において、吸引管はプラスチック材料で作製され、シリンダヘッドの外部にバルブプレート上に載置される。すなわち、吸引管はシリンダヘッドの内部を通して配設されず、放出チャンバの最も熱い領域からの間隔を保つ。この構造において、吸引管が受ける温度は上述の構造のものよりも比較的低く、したがって、前記従来技術構造の中間固定要素の使用が回避される。さらに、前記封止は吸引管とバルブプレートに載置されるガスケットの間の境界面で行われるので、追加の封止要素の必要がなくなる。
【誤訳訂正２】
【訂正対象書類名】明細書
【訂正対象項目名】００１２
【訂正方法】変更
【訂正の内容】
【００１２】
これらの、及び他の目的は、シリンダと、吸引バルブによって選択的に閉じられる少なくとも１個の吸引オリフィスが設けられた、シリンダ端部を閉じるバルブプレートと、シリンダを閉じるバルブプレートの反対側のバルブプレートの面に搭載され、シリンダヘッドの部分を占めて部分的に吸引オリフィスの外形を形成する放出チャンバを画定するシリンダヘッドと、吸引マフラーから突出し、それぞれの吸引オリフィスに同軸配列でバルブプレートに載置された自由端を提供する導出管を有する中空体を備える吸引マフラーとを備え、前記シリンダヘッドには、放出チャンバの外部に、シリンダヘッドの構造的剛性を増加させるような寸法にされた補強壁部分が設けられる、圧縮機用吸引システムによって達成される。
【誤訳訂正３】
【訂正対象書類名】明細書
【訂正対象項目名】００１６
【訂正方法】変更
【訂正の内容】

【００１６】
　説明している吸引システムは、一般に熱伝導性の低い材料から作られ、圧縮機に供給されるガスに流体連絡するガス入り口（図示せず）を設けた中空体を有し、圧縮機の吸引側に流体連絡する導出管５を保持する、吸引マフラー４をさらに備え、前記導出管５は、中空体の内部に端部６を提供し、中空体から外側へ突出してそれぞれの吸引オリフィス３ａに同軸配列でバルブプレート３に載置された自由端部７を提供する。
【誤訳訂正４】
【訂正対象書類名】明細書
【訂正対象項目名】００１８
【訂正方法】変更
【訂正の内容】
【００１８】
　図３および図４に示した他の構造形状によれば、導出管５は、シリンダヘッド１の外部のバルブプレート３に載置されたその自由端部７を有する。この構造において、シリンダヘッド１は、導出管５が前記シリンダヘッド１の内部容積に侵入する必要がないように形状加工され、引き抜かれるガスの加熱を最小にする。しかし、前記解決策は、強度の低い構造および前述の欠点を有するシリンダヘッド１を提供する。
【誤訳訂正５】
【訂正対象書類名】明細書
【訂正対象項目名】００２０
【訂正方法】変更
【訂正の内容】
【００２０】
　本発明の構造的な選択肢において、補強壁部分１２は導出管５をバルブプレート３に載置された状態に保ち、前記補強壁部分１２も例えばバルブプレート３に載置される。この解決策の変形において、補強壁部分１２は中央が開放され、前記開口部分に侵入する導出管５の自由端部７を含んでバルブプレート３に載置して保持し、または、導出管５の自由端部７も、バルブプレート３のそれぞれの吸引オリフィス３ａの伸張部分の少なくとも一部の中に固定することが可能である。
【誤訳訂正６】
【訂正対象書類名】明細書
【訂正対象項目名】００２２
【訂正方法】変更
【訂正の内容】
【００２２】
　この構造において、シリンダヘッド１０には、各々導出管５の管状突起９を受容するように、補強壁部分１２の領域に互いに平行な１対の開口部１３が設けられ、前記開口部１３はバルブプレート３に載置されたその外形を有する。